

第191号

会津坂下農業普及所だより

# みどりのこだま

## 祝 日本農業賞受賞！JA会津よつばかすみ草部会



県知事に受賞報告

JA会津よつばかすみ草部会（現：JA会津よつば昭とかすみ草部会）が令和5年度第53回日本農業賞の集団組織の部・大賞を受賞し、令和6年3月9日に東京都渋谷区のNHKホールで表彰されました。

今回の受賞は、過疎・高齢化が進む中山間地域の特別豪雪地帯である条件不利地にもかかわらず、それを逆手に取って産地化がなされた点が評価されました。

部会では、夏季冷涼な気候を好む宿根カスミソウを栽培し、地域内で標高差を活かしたり、時流に合った品種を選定したりしながら作期拡大を進めています。また、冬季の雪を活用した集出荷貯蔵施設により、節電をしながらも予冷して出荷するパーフェクトコールドチェーン体制を整え、鮮度を保持したまま市場まで輸送しています。その他、市場ニーズに対応するため、全量「におい抑制処理」をした上で、染色加工や需要に応じた出荷規格を設定しています。さらに、地域内外から栽培希望者を積極的に募り、研修体制を整えて、新たな生産者を確保・育成しており、部会員数を維持しながら、若返りが図られています。そのため、近年は作付面積も販売金額も右肩上がりとなっています。

この度の受賞は、部会員の皆様、関係機関・団体の関係者の皆様の努力の結晶だと、改めて敬意を表します。誠におめでとうございます。

当普及所と致しましては、この荣誉ある賞の名にふさわしい産地として「シンカ」し続けられるよう、これからも新たな技術の導入・推進やブランド力の強化など、ひとつひとつ実現する支援をして参ります。

（金山普及所 主任主査 平野）

## 新規就農者紹介



星 淳弥さん(会津坂下町)

会津坂下町で令和3年にきゅうりと水稲で就農されました。就農のきっかけは、祖父が高齢により作業が辛くなってきたため自分ができることについて考えたとのこと。水稲ではFGAPの取得に積極的に取り組まれ、きゅうりでは昨年度の単収が20tを超え、部会単収部門で1位となる優秀な成績を収められています。

次世代へ繋げられる農地保全と経営づくりを目標として、「今年もきゅうりの単収アップするぞ!」と意気込む姿はまばゆく、頼もしいばかりです。(副主査 浅野)



大山 賢一さん・恵さん(昭和村)

昭和村の豊かな自然に魅了され、東京都からご家族3人で移住されました。農業経験が全くありませんでしたが、令和3年度に1年間、宿根カスミソウ栽培を研修し、ご夫婦連名で認定新規就農者となり、令和4年度に就農しました。

就農後は、お二人で指導会や出荷目揃え会等に参加し、お互いに技術を研鑽しながら、徐々に規模拡大を図っています。

「3年目となる今年の抱負は?」と尋ねたところ、「周囲の先輩のいいところを取り入れて、新しい品種にも挑戦して、経営を発展させたい!」と、ステキな笑顔で答えていただきました。今後、益々のご活躍を期待しています。

(金山普及所 主任主査 平野)

## 新任の指導農業士の方を紹介します!

指導農業士は、「自らの農業経営を通じ、農村青少年育成に指導的な役割を果たすことで農業者の社会的評価を高め、青年農業者に対する育成指導活動を強化する」ために福島県が認定する制度です。

まず、鈴木奈保美さん(湯川村:平成27年認定)が令和5年度で御退任されました。長い間、地域農業の振興と青年農業者の育成に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

代わって令和6年1月に大関仁生さん(湯川村)が新たに認定されました。

大関さんは、水稲+肉用牛の経営を通じて地域の中核的な農業者として活躍されており、JA会津よつば水稲部会、肉牛部会等の組織活動を通じ「食の安全・安心」と「環境へ配慮した持続型農業」に取り組んでいます。

今後とも農業士の活動についてよろしくお願ひします。



大関 仁生氏(湯川村)

(専門員 岩淵)

## 鳥獣被害対策モデル集落の取り組み

県では、鳥獣による作物被害対策を地域ぐるみで行う集落を育成するため「モデル集落」を設置し、市町村と連携し、集落の皆様の活動を支援しております。

昨年度までは昭和村の両原集落をモデル集落とし、水田周辺への電気柵設置により、イノシシやクマ、ニホンジカからの被害低減を確認しました。物理防護柵の設置にも取り組み、獣の侵入防止効果の調査や、雪による倒壊防止のために撤去した柵資材の省力的な管理方法の検討等を行いました。

今年度からは会津美里町の松岸集落をモデル集落とし、実証を行います。松岸集落の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

また、作物の鳥獣対策で困りごと等あれば、当普及所にご相談ください。(技師 平・佐々木)



ネット柵設置状況

## 両沼農村青年クラブ(4Hクラブ)の活動紹介

将来の農業を支える若い農業者をメンバーとした「両沼農村青年クラブ」では、農業経営の身近な課題の解決方法の検討や、より良い技術を検討するためのプロジェクト活動を行っています。現在は20名で活発に活動しており、令和5年度には、メンバーがそれぞれのほ場に綿製の衣類を埋め、分解速度により土壌の微生物活性を調査するプロジェクト活動を実施しました。また、近年では県外の先進地視察や法人化研修会への参加、他農業青年クラブとの交流活動も実施しています。

いつでもメンバー募集中です！興味のある方は、当普及所までご連絡ください。(技師 佐々木)



4Hクラブ定例会

## 有機農業最前線

令和3年に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」により有機農業がクローズアップされています。

水稲有機栽培における抑草対策として、近年、「アイガモロボ」が注目されています。アイガモロボの抑草の仕組みは2つあり、①スクリーで田面を攪はんすることにより田水をにごらせ、太陽光を遮り、雑草が光合成をしにくい環境を作る、②トロトロ層を形成し、雑草種子を埋没させることです。昨年度、会津美里町に実証ほを設置し、乗用型水田除草機との組み合わせによる抑草体系を実施したところ、アイガモロボの使用により、雑草の発生を抑えることが実証できました。効果をより発揮するためには、代かき作業等の際にはほ場の均平を取り、田植直後からアイガモロボを投入し、水深を5cm以上保つことがポイントです。今後の水稲有機栽培の拡大のカギになる“カモ”しれません。(農業振興普及部有機農業担当 主任主査 桑名)



水田で稼働中のアイガモロボ

## GAPの切替更新はお済みでしょうか？

県では、令和4年12月より国際水準GAPガイドラインに準拠した県GAPの認証基準(FGAP2022)を策定し、旧認証基準(FGAP2017)は令和7年3月末をもって廃止となります。現在FGAP2017基準で認証を受けている方はFGAP2022への切替を行うことが可能ですので、早めにご準備ください。

当普及所でも円滑な切替更新や新たに組みたい方を支援してまいりますので、ぜひご相談ください。(副主査 浅野)



FGAPについて

# 令和6年度職員紹介

## 所長挨拶

今春4月に会津坂下農業普及所長に着任いたしました。今回の異動により、私を含めて5名が新メンバーとして加わりました。

農業者、市町村、JA等との連携を密にして、地域農業振興、新規就農支援、各生産振興、鳥獣被害対策など山積する課題に対して、職員一同、全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

## 会津坂下 農業普及所



|                      |                             |                                |                        |                          |
|----------------------|-----------------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------------|
| 岩淵幸治<br>(果樹) 専門員     | 星野輝彦<br>(野菜特産) 副主査          | 岡直樹<br>(畜産) 技師                 | 佐々木夏輝<br>(花き) 技師       | 小林恭子<br>(作物) 主査          |
| 小島一良<br>(作物) 専門員     | 岩谷将豪<br>(果樹) 技師             | 浅野千春<br>(野菜特産) 副主査             | 須佐芽生<br>会計年度任用<br>事務職員 | モニタリング<br>業務補助<br>角田小夜子  |
| 五十嵐裕一<br>(作物) 経営支援課長 | 遠藤毅<br>(果樹) 地域農業推進課長<br>次長兼 | 武藤伝<br>(野菜特産) 農業振興普及部主幹<br>所長兼 | 政井紀惠<br>(果樹) 主査        | 農地中間管理機構<br>駐在員<br>那知上一房 |

## 金山 普及所



|                   |                |                         |
|-------------------|----------------|-------------------------|
| 平野朝子<br>(花き) 主任主査 | 平敏伸<br>(作物) 技師 | 雪下まゆみ<br>会計年度任用<br>事務職員 |
|-------------------|----------------|-------------------------|



|   |
|---|
| 桑名篤<br>主任主査<br>(有機農業担当)<br>会津農林事務所<br>農業振興普及部兼任 |
|---|

### ◆熱中症対策に取り組みましょう!!

県内では5月上旬から熱中症が発生しています。普段から天気予報をチェックし、熱中症対策に取り組みましょう!

### ◆内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801